

内水ハザードマップ

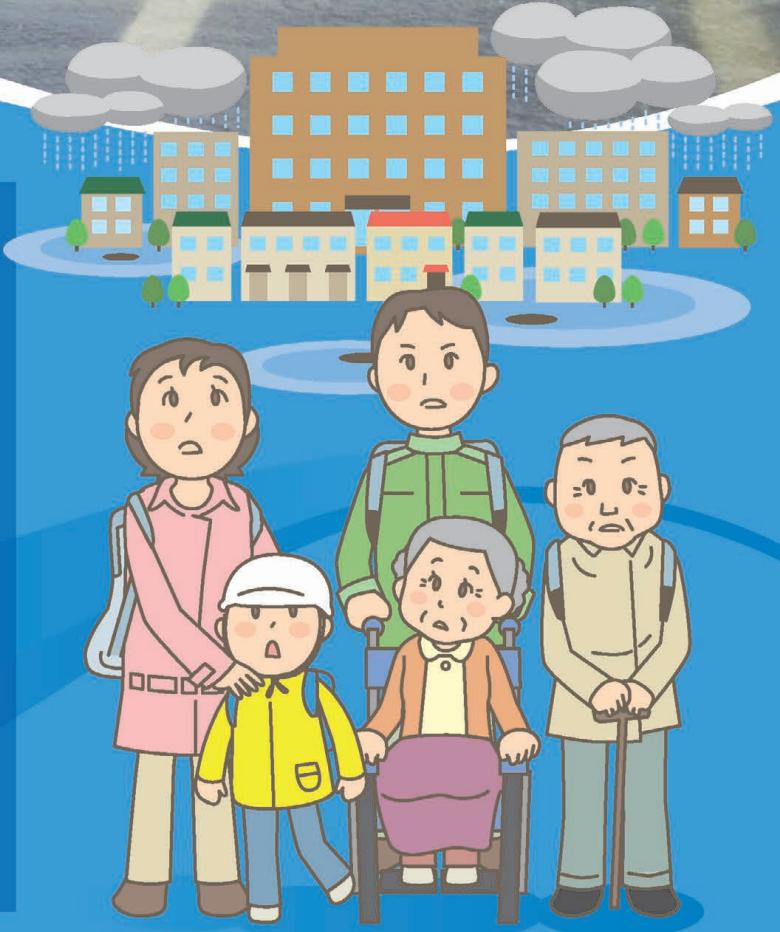


内水ハザードマップとは

近年増加している局所的、短時間の豪雨や急激な都市化の影響で、下水道の排水能力を超える雨水が流出する「内水はんらん」が発生するようになりました。

伊予市では皆様に、浸水の発生が想定される区域や避難に関する情報などを提供し、「内水はんらん」に対する正しい知識をもっていただき、浸水被害を軽減することを目的として市街化区域を対象とした「内水ハザードマップ」を作成しました。

「総合防災マップ」「ため池ハザードマップ」とあわせて持ち出しやすいところに保存、掲示してください。



日常の備え



大雨に備えた準備

大雨に備えた準備をし、いつでも避難できるようにしておきましょう。

①浸水に備えましょう



浸水の恐れがあるときは、家財道具などを2階などの高いところへ移動させましょう。

②停電に備えましょう



停電に備えてローソクや懐中電灯の用意をしておきましょう。

③非常持出袋を用意しましょう



非常持出袋を身近なところにおいて、いつでも避難できるようにしておきましょう。

浸水が想定される箇所にお住まいの方は、自家用車の待避場所を検討しておきましょう。路上駐車は避難行動や災害対応活動の支障となります。

事前にできる対策

①道路上の雨水ますをキレイにしましょう



道路上の雨水ますが塞がると、雨水浸水が発生するおそれがあります。このため、定期的に清掃しましょう。

②避難する場所を確認しましょう



自宅から避難場所、学校や勤務先からの避難場所も全員で確認しましょう。

③避難する経路を歩いてみましょう



避難場所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで複数決めておき、安全に避難できるかを確認しておきましょう。

④雨水貯留・浸透施設の設置



家の屋根に降った雨水を地中に浸透・貯留することで、あふれる雨水や、下水道に流れる水量を減少させ、内水はんらんを防ぐことができます。

家庭でできる簡易水防方法

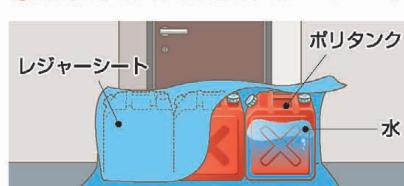
ご家庭にあるものを使って水の侵入を防ぐ方法の例です。あくまでも水深の浅い初期の段階で行うものです。

①ごみ袋による簡易水のう



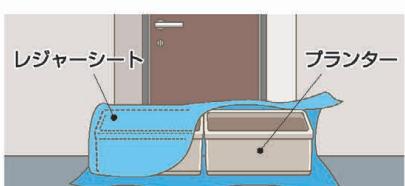
40L程度のごみ袋を二重にして中に半分程度の水を入れます。段ボール箱に入れると強度が増します。

②ポリタンクとレジャーシート



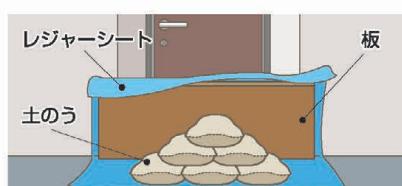
ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結して使用します。

③プランターとレジャーシート



土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

④板など



出入り口で長めの板などを使用します。

⑤吸水性ゲル水のう(使い捨てオムツなど)



軽量・コンパクトですが、水を吸うと膨張します。

非常時持出し品／浸水時の危険箇所

非常時持出し品



情報器具



照明器具

- 懐中電灯
- ろうそく・ライター



非常食品

- 水
- 乾パン
- 缶詰
- カップ麺



衣類

- 下着類
- 靴下
- タオル
- 軍手
- 雨具



その他



貴重品

- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- 預金通帳



避難用道具

- ロープ
- 万能ナイフ
- ヘルメット



浸水時の危険箇所

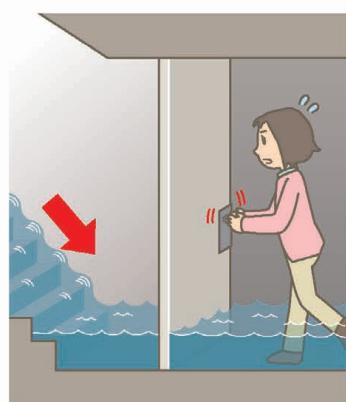
アンダーパス

アンダーパスとは、道路及び鉄道などが交差する場合、その下を通る地下道をいいます。地下道は真っ先に浸水してしまうため、もしもの時のために迂回路を確認しておきましょう。



地下室

地下室は浸水すると外からの水圧でドアが開けられなくなる恐れがあります。浸水の恐れがある場合には地下室の利用は避けましょう。



防災関係機関

防災関係機関一覧

名 称	所 在 地	電話番号
消防本部・伊予消防署	伊予市下吾川950番地3	089-982-0119 (非常の時は119番)
伊予警察署	伊予市下吾川960番地	089-982-0110 (非常の時は110番)
伊予市役所	伊予市米湊820番地	089-982-1111
伊予市総合保健福祉センター	伊予市尾崎3番地1	089-983-4052

名 称	所 在 地	電話番号	指定緊急避難場所	指 定避難所
伊予市総合保健福祉センター	尾崎 3-1	089-983-4052	○	○
彩浜館	灘町 311	089-982-0506	○	○
五色浜グラウンド	灘町 311	089-982-0506 (問合せ先)	○	—
港南中学校	米湊 500-1	089-982-0063	○	○
郡中小学校	上吾川 110	089-982-0168	○	○
郡中地区公民館	灘町 359-3	089-982-3508	○	○
伊予農業高等学校	下吾川 1433	089-982-1225	○	○
ぐんちゅうふれあい館	下吾川 1447	089-983-6511	○	○
さざなみ館	湊町 206-9	089-982-7220	○	○
ウェルピア伊予	下三谷 1761-1	089-983-4500	○	○

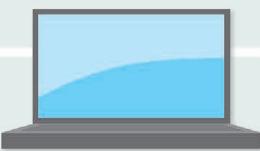
※市街化区域およびその周辺の防災機関を記載しています。

その他のハザードマップ情報

伊予市では、「総合防災マップ～災害対応ガイドブック～」、「ため池ハザードマップ」を作成し、配布しています。以下のHPでもご確認いただけます。

「総合防災マップ～災害対応ガイドブック～」

- ▶ <http://www.city.iyo.lg.jp/bousai/kurashi/guidebook/index.html>



「ため池ハザードマップ」

- ▶ <http://www.city.iyo.lg.jp/nourinsuisan/tameike.html>

我が家の防災メモ



災害時に家族でどこに避難して、どうやって連絡を取り合うかわからず混乱してしまうは大変です。話し合いでいざという時の行動や連絡方法をみんなで確認しましょう。

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
緊急連絡先			

親戚・知人等の連絡先	氏名	電話番号(連絡先)	住所等	メモ

指定緊急避難場所・指定避難所	家族の集合場所
避難場所等	

NTT 災害用伝言ダイヤル 171



災害時には電話が混雑し、家族と連絡がとれないことがあります。その時には「171」をダイヤルして、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数(最大10件)など、利用案内についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

伝言の録音方法

171 → 1 → 089 → XX-XXXX

ガイダンスが
ながれます

市外局番が
必要です

自宅の電話番号

伝言の再生方法

171 → 2 → 089 → XX-XXXX

ガイダンスが
ながれます

市外局番が
必要です

自宅の電話番号

※災害用伝言ダイヤルは、一般電話の他に公衆電話、携帯電話、スマートフォンからも利用できます。

内水はんらんのメカニズム

どんな時に内水はんらんが起きるのか？

伊予市は海に面した平地に位置することに加え、近年の都市化により雨が地面にしみこみにくくなっています。

そのため、下水道で雨を集めてポンプにより河川や海に排水しています。

台風や集中豪雨により下水道の能力を超える雨が降ると雨水を排水できなくなり、内水はんらんが発生することがあります。



内水はんらんと外水はんらん

浸水被害には、大きく分けて「外水はんらん」と「内水はんらん」があります。

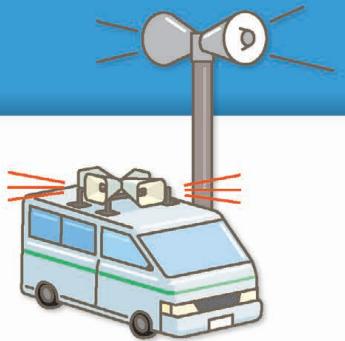
「外水はんらん」は河川の上流で降った雨などにより河川の水位が上がり、堤防から水が溢れたり、堤防が決壊することにより起こります。はんらん水が継続的に町に流出するため被害が大規模となる傾向があります。

これに対し「内水はんらん」は市街地に降った雨が下水道の処理能力を超えると、水が上手く排除できないことにより起こります。外水はんらんに比べ被害は小規模な場合が多いですが、急激な雨で突如として発生したり、マンホールのふたがあいてしまうといった、外水はんらんとは異なる危険性があります。





市から提供される避難情報



市から提供される避難情報

危険度

弱

大雨気象情報
注意報大雨気象情報
警報

数十年に一度の大雨

特別警報

強

洪水発生の恐れあり

自主避難

大雨が続き不安を感じたり、体力に自信がないなどの場合は、早めに地域の避難所へ自主避難しましょう。

避難準備・高齢者等避難開始

人的被害の発生する可能性が高まった時に市から発表されます。避難行動要支援者など、特に避難行動に時間を要する方が避難行動を開始しなければならない段階です。

避難勧告

人的被害の発生する可能性が明らかに高まった時に市から発表されます。通常の避難行動ができる方が避難行動を開始しなければならない段階です。

避難指示（緊急）

前兆現象の発生や現在の切迫した状況から、人的被害が発生する危険性が非常に高いと判断されたときに市から発表されます。

避難が危険な場合は、自宅や近所の2階などに避難し屋内で安全を確保してください。



- 家族で集まる。
- テレビ・ラジオをつけ気象情報を収集する。
- 家財道具を高い所へ移動。
- 避難の準備。
- 避難先の確認。
- 助け合って避難する。



- 元栓・ブレーカーを切る。
- 戸締りの確認。
- 車で避難しない。
- 落ち着いて避難する。
- 隣近所に声をかける。
- 助け合って避難する。

- 万が一、逃げ遅れた場合は、自宅の2階などに避難する。
- ラジオをつけ被害の状況や、今後の気象情報を収集する。

伊予市の大気注意報・ 大気警報の発表基準

	大雨注意報	大気警報
平坦地	1時間雨量30mm以上	1時間雨量 50mm以上
平坦地以外	3時間雨量50mm以上	3時間雨量100mm以上

発表官署：松山地方気象台

いよし安全・安心メール

伊予市では、伊予警察署からのお知らせ、気象警報・注意報、地震情報、津波警報・注意報、土砂災害警戒情報、天気予報を配信しています。(一部の情報を選択して受信することも可能)

1

entry-iyo@bousai-mail.jpへ空メールを送信。



QRコードからメールアドレスを取得することもできます。



2

返信メールが来たら、そこに記載されているURLにアクセス。
iyo@bousai-mail.jpのメールが受信できるようにしてください。



3

「利用規約」を確認し、居住地の確認を行って、登録ボタンを押します。



4

「ご登録完了」の画面が届きます。



5

地域や情報の詳細を選択する場合は、「登録完了」の画面に記載のURLにアクセスして設定を変更してください。

市のホームページ <http://www.city.iyo.lg.jp/bousai/kurashi/bosai/mail.html> にも掲載していますので、ご確認ください。
※通信費(パケット料金)は、登録者のご負担となります。

その他の情報収集手段

「気象庁ホームページ」▶ <http://www.jma.go.jp/>

「愛媛県 河川・砂防情報システム」▶ <http://kasensabo.pref.ehime.jp/dosha/>

浸水時の行動と心得



浸水時の行動と心得



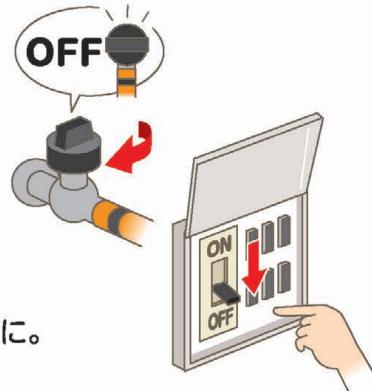
情報収集と慎重な行動を

防災行政無線、テレビ、インターネットなどで最新の気象情報、避難情報に注意して、デマや噂に惑わされないように慎重に行動しましょう。



避難する前に確認を

家を出るときにガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを落としましょう。また家族に連絡先、安否情報などのメモを残しましょう。家の戸締りを忘れずに。



徒歩で避難を

車での避難は、渋滞が発生したり、浸水により動けなくなったりするため、徒歩で避難しましょう。



足元に注意を

避難時はスニーカーなどの運動靴を履きましょう。長靴は水が入ると危険です。また、長い棒などで足元の安全を確認しましょう。



地域の助け合い

高齢者や病人などの要配慮者は早めの避難が必要です。避難所への避難を優先し、避難に協力しましょう。また、旅行者や外国人観光客等の避難施設への移動も支援しましょう。



無理な避難の回避

避難の時間が十分に確保できないとき、すでに浸水が始まっているとき、夜間などは無理に避難せず、二階や近くの安全な建物へ移動しましょう。

